

# 足立区議会鉄道高架化促進議員連盟

## 総 会 資 料

平成17年5月13日

(都市整備部)

竹ノ塚駅周辺地域鉄道立体化に関する一連の経過

年 月 日	出 来 事
昭和55年7月7日	竹ノ塚駅南側踏切高架化の請願採択 請願者：竹の塚中町会（会長 古庄 一 他8,088名/紹介議員7名）
昭和62年度	踏切改良整備計画調査（赤山街道・道路立体交差化調査）
昭和63年度	足立区内鉄道沿線地区交通体系整備計画調査（鉄道高架化による立体交差化の概略検討）
平成元年～2年度	足立区鉄道沿線地域整備計画調査（連続立体交差事業の検討と沿線市街地整備調査）
平成3年度	竹ノ塚駅周辺鉄道沿線地域整備計画調査 ※H.元～2年度の足立区鉄道沿線地域整備計画調査を受け、調査対象を竹ノ塚駅周辺に絞り、連続立体交差事業の採択を前提とした将来の市街地の基本構想及び鉄道高架化基本計画等を策定したもの。 なお、この調査は国・都や鉄道事業者等の関係者により創設された「竹ノ塚駅周辺鉄道沿線地域整備計画調査委員会」により行われたものである。 調査概要 ①竹ノ塚駅周辺地区整備計画調査（総合的な市街地整備の基本構想作成） ②竹ノ塚駅周辺鉄道高架化基本計画（関係機関との調整のため高架化基本計画作成） ③竹ノ塚駅周辺補助幹線道路整備計画（地区の道路網計画の作成、新規道路基本設計）
平成12年7月7日	踏切道等総合対策事業（建設省都市局・道路局）の創設
平成12年8月23日	鉄道立体交差化検討部会の設置（H12第2回まちづくり推進本部） 部会検討事項 竹ノ塚駅周辺地域の鉄道高架化関連/北千住大踏切立体交差化関連
平成12年11月～13年5月	地元関係者から国・都・区へ鉄道高架化促進にかかる働きかけ等有り⇒都との調整（都職員参加・事務レベルの検討会設置で収束）
平成13年1月某日	東武鉄道（株）役員が区長訪問（東武竹ノ塚駅ビルの耐震対策・リニューアル実施の報告/近々に実施の予定）
平成13年6月14日	鉄道立体交差化検討部会の分会として「竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会」の設置承認（H13第1回まちづくり推進本部）
平成13年7月10日	第1回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会の開催 駅周辺地域の現状報告/検討の必要性の共有/検討会の設立承認
平成13年11月12日	東武線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化に関する要望書が区長宛に提出 署名代表人：洲江町会自治会連合会長 古庄孝夫、 伊興区民事務所管内町会自治会連絡協議会長 高橋清 署人数：53,929名 要旨 駅南北の[開かずの踏切]解消と駅を中心とした東西一体となったまちの発展のため、鉄道高架化の早期実現に向けて、関係機関への強い働きかけをお願いする。
平成13年11月13日	第2回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 駅周辺地域の現状/東武伊勢崎線の現状/駅周辺地域の将来構想/踏切対策の必要性の認識
平成14年2月14日	第3回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 駅周辺地域将来構想（細部）/今後検討すべき事項の抽出 ※まちづくりの検討を含めたうえで、鉄道立体化の妥当性・合理性の検証が必要
平成14年5月29、31日	第4回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 今後検討すべき課題の整理
平成14年7～10月	委託調査事項の精査（課題のうち、「鉄道事業者との協議促進に寄与する調査」・「区としての方向性を探るための調査」を優先）
平成14年11月18日～平成15年3月25日	竹ノ塚駅周辺地域鉄道高架化関連基礎調査委託の実施 契約期間 H14.11.18～H15.3.25 主な調査内容 交通量調査（主な道路と踏切/現状と将来予測）/道路立体案作成、鉄道立体案理/道路立体案と鉄道立体案の比較検討/適用事業制度の検討/今後検討すべき事項の抽出と整理
平成15年3月24日	第5回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 交通量調査結果の報告/道路立体案と鉄道立体案の比較検討
平成15年10月30日	第6回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 市街地の現状把握/今後検討すべき課題の抽出
平成16年3月	委託調査（竹ノ塚駅周辺街路網整備計画/竹ノ塚駅前の利用実態/駅前広場基準面積の算定）
平成16年7月14日	第7回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 竹ノ塚駅周辺道路整備に係る課題/鉄道立体化に伴う道路網整備案
平成17年3月30日	第8回 竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 竹ノ塚踏切事故対策会議について/今後の検討会の進め方

竹ノ塚駅周辺地域に関する踏切事故後の経過

平成17年	出来事
3月15日	踏切事故発生(16:50分頃、4名死傷)
3月17日	第1回竹ノ塚踏切対策会議 緊急踏切対策の検討に着手
3月23日	第2回竹ノ塚踏切対策会議
3月28日	第3回竹ノ塚踏切対策会議
3月30日	第8回竹ノ塚駅周辺地域道路・鉄道立体化検討会 竹ノ塚踏切対策会議/今後の検討会の進め方
4月1日	東武鉄道(株)根津社長が区長を訪問 踏切事故に関する陳謝/安全対策の充実・立体交差化に関する検討に関し協力を約束
4月5日	第4回竹ノ塚踏切対策会議
4月6日	竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求める要望書(都知事宛)を足立区長が東京都都市整備局長に提出 竹ノ塚駅付近の鉄道高架化を求める意見書(都知事宛)を足立区議会議員、副議長が東京都都市整備局長に提出
4月6日、7日	竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現を求める街頭署名活動
4月7日	東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求める要請書(東京都知事、足立区長宛)を地元代表者が提出
4月7日	竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求める要望書(国土交通大臣宛)を足立区長が国土交通大臣に提出 竹ノ塚駅付近の鉄道高架化を求める意見書(国土交通大臣宛)を足立区議会議員、副議長、議会運営委員長が国土交通大臣に提出 東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求める要請書(国土交通大臣宛)を地元代表者が提出 北側大臣より、連続立体化に向けて進めていかなければならない、立体化検討会に国も参加する、当面の対策も重要、等の話がある
4月11日	第5回竹ノ塚踏切対策会議
4月15日	足立区議会鉄道高架化促進議員連盟 発足
4月18日	第6回竹ノ塚踏切対策会議
4月21日	第7回竹ノ塚踏切対策会議
4月22日	竹ノ塚駅付近における緊急踏切対策について合意(東京都都市整備局長、足立区助役、東武鉄道(株)鉄道事業本部長)、プレス発表
4月25日	竹ノ塚駅構内踏切対策特別部会の設置承認(H17第1回まちづくり推進本部)
4月28日	東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現を求める要請書(第1回)(国土交通大臣、東京都知事、足立区長、東武鉄道社長宛)が足立区長に提出される 署名代表人： 湊江町会自治会連合会会長 古庄孝夫 伊興区民事務所管内町会自治会連絡協議会会長 高橋 清 署名人数：76,185名(第1回分) 要旨：竹ノ塚駅南側踏切事故を繰り返さないため鉄道高架化の一日も早い実現を地域住民の総意に基づき強く要請する。
5月13日(予定)	足立区議会鉄道高架化促進議員連盟総会
5月20日(予定)	(仮称)竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会 総決起集会

## 東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）の鉄道立体化について

### 1 竹ノ塚駅付近の現状

- ・竹ノ塚駅付近以外の区間は、道路と鉄道はすでに立体化されている。
- ・駅北側の補助 261 号線は道路オーバーで都市計画決定されており、線路より東側は整備済みとなっている。
- ・駅南側の踏切は、区道（赤山街道）であり、駅北側の踏切も区道である。

### 2 短期及び長期対策

#### (1) 短期対策

歩行者、自転車対策として歩道橋等を設置  
(竹ノ塚踏切対策会議にて検討中)

#### (2) 長期対策

踏切を解消するため、道路と鉄道を立体交差化

### 3 連続立体交差事業の採択要件

#### (1) 通常要件

判定（竹ノ塚をあてはめた時）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| ① 350m以上離れた幹線道路を 2 本以上含む | × |
| ② 道路と 3 ヶ所以上で立体交差        | ○ |
| ③ 2 ヶ所以上の踏切を除却           | ○ |

※幹線道路とは、道路法による一般国道及び都道府県道並びに都市計画道路をいう。

※事業費の負担割合は、総額を 100 とすると、鉄道事業者 14、国 43、都市 43（うち都 7、区 3 の割合で按分）となる。

#### (2) 緩和要件

- |                            |   |                  |
|----------------------------|---|------------------|
| ④ ボトルネック踏切が存在する幹線道路を 1 本含む | △ | →赤山街道を幹線道路と      |
| ⑤ 道路と 3 ヶ所以上で立体交差          | ○ | <u>認定することが必要</u> |
| ⑥ 2 ヶ所以上の踏切を除却             | ○ |                  |

※緩和要件の適用には、踏切道等総合対策プログラムの策定が必要である。

### 4 連続立体交差事業の施行者

平成 17 年度より、都道府県・政令市に限られていた施行者に県庁所在都市及びそれに準ずる都市（人口 20 万人以上の都市及び特別区）が追加された。



斜路付階段歩道橋 (自転車対応13人乗りEV付)  
 (階段部幅員1.8m 跨線部2.6m)



